

平成27年度（2015年度）
大阪狭山市議会・大阪狭山市PTA連絡協議会
第2回意見交換会まとめ

日 程	平成27年11月29日（日）
時 間	午前10時～
会 場	市役所3階第1会議室

目 次

■ 開催の状況	1
■ 次第	2
■ 意見交換会の様子	3

■開催の状況

- ・開催日時 平成27年11月29日（日）
午前10時00分から午前12時00分
- ・会場 大阪狭山市役所（3階第1会議室）
- ・出席議員 井上健太郎、上谷 元忠、小原 一浩、片岡由利子、
北 好雄、薦田 育子、須田 旭、徳村 賢、
鳥山 健、西野 滋胤、松井 康祐、松尾 巧、
山本 尚生（以上14名）

※議員名は50音順

- ・出席市PTA連絡協議会役員等（順不同）
東小学校：佐藤 正和
西小学校：柴 隆介、山本 秀佳
南第一小学校：河野 太郎、宮繁奈緒美
南第三小学校：平井 知子、吉田利英子
北小学校：栗本 芳行、香川 仁志、
第七小学校：原 康人
狭山中学校：平田 佳之
南中学校：河盛 聡、林 伊三郎、城山みゆき、
南野 知子
第三中学校：中村 康文、中田 勇治
- ・傍聴 前役員等

■次第

司会：河盛 聡（大阪狭山市P T A連絡協議会副会長）

・開 会

・開会挨拶
大阪狭山市P T A連絡協議会会長 柴 隆介
大阪狭山市議会議長 丸山 高廣

・開催趣旨説明
大阪狭山市議会 議会改革特別委員会委員長
片岡由利子

・意見交換
大阪狭山市立小中学校P T A各校会長、副会長、
その他役員等及び大阪狭山市議会議員

進行役：柴 隆介会長（P T A側）
松尾 巧議員（議員側）

・閉会挨拶
大阪狭山市議会副議長 徳村 賢
大阪狭山市P T A連絡協議会副会長 河盛 聡

・閉 会

■意見交換会の様子

◎意見交換会の目的

大阪狭山市のまちづくりや子どもの育成に関わる団体として、大阪狭山市議会と大阪狭山市PTA連絡協議会が意見交換会を開催することにより、共通認識を持ち、共に協力連携することで、まちづくりの促進や青少年健全育成の充実を図ることを目的とする。

◎意見交換会のテーマ

「住み続けたいまち・子育て・教育」

ポイント①

部活動の備品や道具を購入する予算を確保できないか。スポーツによる青少年育成を推進すべき。

ポイント②

みんなが住みたいと思うには、買い物が便利であることが大切。大きなショッピングモールはつukれないものか。（若者向け）

◎意見交換の内容

意見交換は、柴会長が中心となりながら、各校のPTA会長等からご質問・ご意見を述べていただき、それに対して議員が回答、また、意見を述べるという形で進められました。意見交換の概要は次のとおりです。

質問・意見など	回答・意見など
<p>【事前にいただいていた質問等】</p> <ul style="list-style-type: none">安全の観点から交差点のミラー、信号等の設置をしてほしいが、その申請の方法等を知りたい。市内の公園にある遊具が古くて怖い。新しくならないか。	<ul style="list-style-type: none">ミラーについては、地区長を通して申請書を提出することになっています。PTAからでは申請できません。その後、現地調査を実施の上、周辺住民の理解が得られた場合に設置されます。信号については、地区長を通して市役所から警察署に届けています。これを許可するかどうかは、警察の判断になります。現在、市内の古い遊具を計画的に更新していく取り組みが始まっており、年1回、専門技術者によって、遊具の点検を夏休み前に実施するとともに職員による点検も実施しています。

質問・意見など	回答・意見など
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を今後も継続してほしい。 ・全教室にエアコンを設置することはできないか。 ・市内の生活水は、シンクなどを白くする性質があるようである。何とかならないか。 ・街灯がLEDにより明るくなった。防犯の一環で好評である。今後も防犯に注力してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも継続して提供しますので安心くださいと給食センターから回答をいただきました。 ・9月定例月議会において、全教室のエアコン設置について、調査のための補正予算が決まりました。今後、設置に向け事業を進めていくとの回答を得ていますので、エアコン設置について、今後の提案を期待しています。 ・平成24年4月より大阪広域水道水を市内全域に供給していますが、以前、市営水を供給していたときは、水分中のカルシウム、マグネシウムの含有量が多かったため、ポットなどが白くなる事案が発生したと聞いていましたが、現在の水は、カルシウム、マグネシウムの量は少なくなり、白くならなくなっています。しかし、あえてカルシウムやマグネシウムを入れてしまう機械が市販されており、シンクなどが白くなる事案があるとのことですので、一度、浄水器等を付けていないか確認してください。浄水器がっていないのであれば、何か違う問題があるかもしれませんので、水道局に問い合わせてください。 ・現在、全ての街灯がLEDになっています。本年度、狭山池公園と東大池公園の街灯のLED化が進められています。今後も防犯について積極的に取り組んでいきたいと考えています。
<p>【当日テーマ ポイント①】</p> <p>部活動の備品や道具を購入する予算を確保できないか。スポーツによる青少年育成を推進すべき。 《補足説明》</p> <p>部活動は人間形成の基礎となるものが満載で多くのメリットがある。予算の申請と決定がうまく回っているのかどうか不透明で、もっと支援してほしい気持ちが強い。</p> <p>また、顧問を持つ先生方の負担が大きい。土曜日、日曜日は無く、家族や自分の時間を犠牲にして頑張っておられる中、道具や備品を自身で手直しされており、せめて使う道具が少しでも充実すれば、精神的支援ができると考える。</p> <p>多くのメリットがある部活動に対し、もう少し予算を充実させることはできないか。</p> <p>【質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動と地域のスポーツについて、仮 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の備品や道具は、安全面で大切な問題であり、要望に沿いたいとの思いはありますが、今、指導者の確保ができずクラブを廃止したとの話も聞いていますので、部活動のための体制づくりがまず大切な課題と考えています。 ・スキルを持った先生が指導をしようとしても物が揃っていないと、揃った後、学校が替わるとその後は使いこなせる先生がおらず、残念なことになってしまっているとのことで、全ての子どもたちが安心して、高い目標を設定して学べる環境づくりは必要ですので、気にとめて頑張りたいと考えます。 ・廃部で無くなった部活動を支えていくために地域スポーツクラブができたという流れが10年ほど前にありました。今は若い先生が増えて部活動が盛んとなる一方、地域スポーツクラブに行く子どもが減ってきています。部活動だけでいいのか、地域スポーツクラブへの参加を増やせばいいのか、双方がリンクできるのかは、今後の大きな課題です。 ・教育振興基本計画の中で、学校と家庭と地域の連携が大きい

質問・意見など	回答・意見など
<p>に中学校にバスケットボール部があり、地域のバスケットボールチームがある。それぞれどこを目ざしているかが違う。行政として部活動も推進、地域のスポーツも推進する今、転換期に差しかかっていると感じる。今後どのようにスポーツを推進していくのかを考えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動は先生が大変だとの意見があることは承知しているが、我々の時代は先生は試合のときだけであった。先生が多忙であるならば、外部から有償や無償で対応できないものか。 ・何か1つ大阪狭山市はこのスポーツを推進していると市民に分かりやすくすればどうか。 ・先生方は大変な中でも仕事に対するやりがいを感じながらやっておられると思う。その中で先生方のモチベーションをどうやって高めればいいかが課題ではないか。予算や設備もその一つである。 	<p>なテーマになっており、先生方の多忙を市民の有償ボランティアに協力をいただくことで、子どもたちを育てていけると考えます。備品の購入は、教育委員会が学校からの希望を受け、全てではありませんが予算をつけます。スポーツによる青少年の育成の推進は、集団教育の中で子どもたちの人格を磨いていく学校教育の主たる目的であり、スポーツが持っている意味はすごく重要なものと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動をしている者同士は、心のつながりや絆ができます。ただし、知力も向上させなければなりませんので、バランスを考えた教育が必要となります。部活動の予算を確保することは非常に大事ですが、パイ（総額）は限られています。無尽蔵にあるわけではありません。 ・現状として外部に有償でお願いをして活動している学校はあります。スキルを持った市民の方に指導をしてもらい、先生は部長（顧問）の立ち位置という協力体制を少しずつ進めておられ、変化は起きています。また、子ども議会でも、もっと外で遊べる公園や球技ができる場所が欲しいという希望が挙がっています。そこにスポーツや運動を組み合わせるタイミングなのではと考えています。学校の中に地域が今、入りつつあるときではないかと考えます。 ・基本的に小学生と中学生で部活動は大きく異なります。地域コミュニティを育てていくのであれば、学校の部活動だけに委ねるのではなく、ボランティア的な民間的なものを育てていくことも大切だと思われまます。 ・部活動にほとんど出られない顧問の先生もおられますが、部活動は教育の一環であると考えている教員がおられるのも事実です。 ・部活動は児童や生徒が成長していく一つの過程でもあり、予算などを一層充実するための意見を行政に届けていきたいと思ひます。
<p>【当日テーマ ポイント②】 みんなが住みたいと思うには、買い物が便利であることが大切。大きなショッピングモールはつくれないものか。（若者向け） 《補足説明》 高齢化が全国的に進んでいるが、未来の住みよいまちづくりには、若者の居場所も必要。若者が休日に行く場所は、大きなショッピングモール。そのような場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致する大きな土地があつたとしても、近くに住民の方が住んでおられたり、商店があれば地域と一緒に理解を得ながらつくっていくこととなりますので、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。 ・長野市のことですが、スーパーが撤退した際、商工会などが中心となって、1階の生鮮食品だけは守ろうとされました。上の階の電化製品などは無くなりましたが、そこは子育て支援センターや老人大学のような団体がブース

質問・意見など	回答・意見など
<p>所が大阪狭山市には無いことで、提案する。</p> <p>【質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金剛店が閉店となると周りの商店街も含め、多くに影響があることから、何とか金剛店を守る方法はないものか。 ショッピングモールは例の一つで、そのようなものを中心とした若者が集まりやすいまちづくりにより、子どもを育てている世代が家族で行ける場所ができたという思いである。 まちづくりに関して、中心を作り、それに付随させいろいろ進めていくようにすれば、市民に対してわかりやすいメッセージとなるのではと思う。 	<p>として活用されておられました。今、買い物に行けないお年寄りが増えてきており、子どもたちや若者世代と買い物に行きやすい雰囲気をつくるのが大事だと思っています。子どもたちをうまく巻き込んだ高齢者施策を考えることで、ソフト面で何か寄り添えることはできないか考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市としてどのように金剛店を残すかを検討すべきであると思います。また、狭山駅前にもお店がなくて困っており、北野田まで電車賃を使って買いに行っておられます。ただし、公的にそのような建物を建てることは難しく、大変厳しい答えとなります。 富田林のショッピングモールのような、周りに店舗が建っていくパターンになっていくのではと思っています。官主導ではなく、民主導でやっていくものです。
<ul style="list-style-type: none"> 道路環境は整備されているが、中には歩道もなく、子どもが危ない部分を通っていると聞く。子どもの通学路対策について、このような意見が多くある。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路については、常に気にかけているところであり、危険箇所の対策の要望があると、現地調査などを行い対応していますが、当然ながら予算の問題もあります。ただし、気づいた際には声をかけていただき、一緒に考え、提案をしていきたいと思っておりますので、そのような情報はできる限り集めたいと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> 感じたことや思ったこと、問題などは市のどこへ持っていけばいいのかわからない。また、直接担当に持って行ったところでどうにもならない感がある。可能であれば、議会も含めた、わかりやすい何でも言いに行ける機関や窓口があれば、市民としては行きやすいと思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前から質問や提言を行っていますが現状では難しいようです。ただし、議員の役目として、いろいろな相談や問題に対し、答えることができるものもあれば、担当部署へのつなぎ役として対応することができると考えています。 EメールやSNSを利用し、どのようなことでも議員に言ってください。それが力となりますので。 議会の窓口としては議会事務局がありますので、そこに相談をしていただいても構いません。 基本的には執行機関の窓口が一般的ですが、重要なことやどうしてもお願いしたいことは、直接、秘書グループに相談されてはどうでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> 前市長のときに市長室の開放があったり、メールで市長に問い合わせができるシステムがあったが、現状はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新市長については、タウンミーティングを行うことを所信表明されていました。市長室の開放等については現時点では何も聞いていません。

大阪狭山市議会と大阪狭山市PTA連絡協議会は、より良いまちづくりのために共に協力連携することで、まちづくりの促進や青少年健全育成の充実を図るという共通認識のもと、今後も継続して意見交換会を実施していきたいとの合意を得ました。